

学則変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

香川大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づく 5 名の恒久定員増及び「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 7 名の臨時定員増を、また、平成 24 年度及び平成 25 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した各 1 名の臨時定員増を実施した。

平成 21 年度に実施した平成 29 年度を期限とする 5 名の入学定員について、平成 30 年度の「新成長戦略」等を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までの期限を付した 5 名の地域枠として再度の臨時定員増を実施することで、平成 31 年度を期限とする 14 名（「緊急医師確保対策」に基づく 5 名並びに「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく 9 名）の臨時定員増を実施した。

平成 31 年度においては、平成 30 年 6 月 15 日の閣議決定「経済財政運営と改革のきほん方針 2018」を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までに認可を受けた臨時的な定員数から 2 年間を通じて地域枠の学生を確保できていない定員数を減じた数を上限として入学定員増を行い、令和 3 年度を期限とする 14 名の臨時定員増を再度実施した。引き続き令和 4 年度、5 年度及び 6 年度においても、暫定的な維持として 1 年ごとに 14 名の臨時定員増を実施し、令和 7 年度においては 11 名の臨時定員増を実施した。

また、令和 8 年度においても、「令和 8 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和 6 年 11 月 20 日付 文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長通知）により、「令和 8 年度末まで 1 年間延長する」ものとされ、11 名の臨時定員増を実施し、令和 8 年度入学定員を、臨時定員増を行わなかった場合の 95 名から 106 名に変更する。これに併せて、収容定員についても臨時定員増を行わなかった場合の 595 名から 606 名に変更する。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

医療は国民生活に欠くべからざるものであり、誰もがいずれの地域にあっても必要な医療を受けられ、また地域医療に従事する医療従事者が働きがいを感じる医療の現場を実現していくことが必要である。

香川県においては、へき地医療を担う医師や産婦人科と麻酔科などの医師数が全国平均を下回っており、どこでも、適切な医療を享受できる体制を一層整備する必要がある。

政府の「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき「地域の医療が改善されたと実感できる」実効性のある策を講じて地域医療の向上に寄与するため、医学部医学科の入学定員を令和 8 年度は 11 名増員する。同時に、学生を卒業後、地域に定着させるための大学の取組として、地域医療に貢献するマインドを持った

医師を養成するための教育プログラムを一層整備する。併せて、卒業生による地域医療への貢献を促進するための取組を実施する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【地域医療を担う医師の養成に関する取組の変遷】

- ① 1年次の授業科目「医学概論」において、香川県立中央病院へき地医療支援センター医師による講義「医療と地域社会」を実施している。また、「医療プロフェッショナルリズムの実践」では、山間部医療、在宅医療について、学外の医師から実践的な講義を実施している。平成24年度からは地域の医療機関、老人保健施設、福祉施設等にて見学実習を実施している。
- ② 2年次の授業科目「患者との出会い」（令和3年度より新設）において、外来診療の見学等、低学年より患者と接するための実習を実施している。原則、附属病院での実習を予定しているが、将来的には県内の医療機関での実習も検討している。
- ③ 3年次の授業科目「臨床総論講義」において、医学部附属病院、地域中核病院、地域診療所に勤務し、外来診療および病院診療での実務経験のある教員による講義を実施し、医学総論知識、地域医療への関心を高めている。
- ④ 4年次の授業科目「衛生学」において、香川県環境保健研究センター等にて地域保健医療の見学実習を実施している。また、「公衆衛生学」において、地域医療に関する講義や行政機関での体験学習や訪問調査等を実施している。
- ⑤ 香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター（平成22年7月設置）により、平成23年度から4・5年次の医学実習Ⅰの中で、地域医療臨床実習を1週間実施している。これは、県内の地域医療の基幹となる医療機関での実習であり、当初6医療機関で開始されたが、現在は21医療機関の協力を得て実施している。また、医学実習Ⅱは、実習期間を平成30年度から12週を27週とし、5・6年次にまたがる必修科目となっており、地域医療等の病院での地域医療臨床実習は、3週間の選択から必修へ変更し、当初3医療機関で開始されたが、現在は16医療機関の協力を得て実施している。これ以外にも、附属病院総合診療科をはじめとした臨床系講座が、県内の病院、診療所での実習を実施している。
- ⑥ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター（平成15年4月設置）に専任教員を配置し、研修環境やシステムの充実、研修医のニーズに応じた自由度の高い研修プログラムを提供している。
- ⑦ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムでは、2年目に研修医全員が3ヶ月以上最長1年の期間、県内の協力型病院にて研修し、卒後臨床研修を通じて地域医療に貢献している。
- ⑧ 香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター等が協力し、香川県での地域密着循環型の卒後臨床研修及び専門医研修のシステムに関する説明会を、在学生には低学年から定期的に実施している。

⑨平成 24 年度に策定された「新地域医療再生計画」に基づき、香川県及び県内の自治体等から「地域連携精神医学講座」「地域医療再生医学講座」「自治体病院支援・推進医学講座」「地域医療連携医学講座」「循環器・腎臓疾患地域医療学講座」「肝・胆・膵内科学先端医療学講座」「地域医療総合医学講座」「ヘルスケア A I 活用講座」の地域医療に関連する寄付講座が開設され、より充実した地域医療教育が可能となった。

特に「地域医療総合医学講座」では、医師の地域偏在、診療科偏在を解消するため、医師少数区域等への医師配置に向け、地域枠学生・地域枠医師に対する教育・サポートや推奨 6 診療科（内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医）への誘導の強化、医師不足地域への地域枠医師の派遣調整の実施とともに、医師少数区域等の医療機関で活躍が見込まれる総合診療医の育成・確保を図る。

令和 7 年 3 月には「ヘルスケア A I 活用講座」を開設し、地域連携および薬事に関するシステム連携などを基に、さまざまな医療ビッグデータを活用した研究を行い教育や研究活動を行っている。

⑩香川県と連携し、在学中の修学生に対し、香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会（地域医療スピリット）及び地域医療総合医学講座教員・県内の地域医療従事者・義務年限中の医師等を講師として、セミナーを各学年 1 回/年（学年別セミナー）を提供している。

⑪令和 5 年度から新たに、1～4 年次を対象に、学年毎に年 2～3 回地域医療マインド醸成のため地域医療やその周辺に関することをテーマについての地域医療ワークショップを実施している。

⑫令和 5 年度から新たに、香川県における総合診療医の育成及び増員を図ることを目的とし、県内の総合診療専門研修基幹病院 4 病院にて持ち回りにて、学術集会（Sanuki GM Conference）を実施している。

⑬令和 6 年度から医師の地域偏在及び地域枠学生に対する教育の一環として、義務年限配置の病院を理解するための香川県修学生のために病院見学ツアーを実施している。

⑭令和 7 年度より医師の診療科偏在及び地域枠学生・医師の進路決定の一助として、香川県の推奨する診療科によるハンズオン研修の実施を予定している。

⑮令和 6 年度より地域枠学生に対して、進路（専門研修）を決定する上で参考となるよう各診療科に基本領域・サブスペ領域の研修可能な配置先病院が分かる資料を作成し、地域枠学生へ配付、説明会を実施している。

⑯令和 4 年度「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」（4 大学（岡山主幹・香川・鳥取・島根）連携）が採択された。これは主に地域枠学生を対象としたプログラムで、各大学の強みとそれぞれの地域の特色を掛け合わせ、7 年間をかけてその時々的重要な機敏に取り入れてプログラム内容を変化できる地域枠教育プログラムの構築と教育拠点の形成を実現する。これにより、卒後に地域医療への従事を強く志向し地域が求める優れた医療を提供できる医師を確実に養成できる。

令和 5 年度には、4 年次を対象に地域医療特別プログラム、地域枠学生対象のキ

キャリアデザインシミュレーションを実施した。令和6年度は対象者を4年次全員に広げたキャリアデザインセミナーとして実施し、更なる地域医療マインドの醸成を図った。

⑰地域枠学生対象に、制度の説明や義務年限を果たしている医師の経験談、総合診療専門医、地域医療を担っている病院医師の話を聞ける機会を設けることで、総合診療に興味を持つ学生たちも増えている。今後この方面に進んだ医師たちの受け皿について以下のとおり具体的に検討している。

(1) 総合診療専門医養成のプログラムを県内で統一検討（令和6年から開始）。

(2) 自治医大卒業の医師たちとの交流も深め、義務年限を果たした後の拠り所として大学総合診療科を拠点とし機能させる。

教育課程等の概要																
(医学部医学科)																
科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	学びと生き方科目	ライフデザイン	1①②③	1			○			1						兼21
		健康・スポーツ	1前・後	2					○							兼22
		小計（2科目）	—	3	0	0		—		1	0	0	0	0		兼23
		大学入門ゼミ	1前	2				○			1	1	1	4		兼2
		情報リテラシー	1①～②	2				○	○		1		1			兼41
		学問への扉	1①②③	3				○			2					
		小計（3科目）	—	4	3	0		—		3	1	2	4	0		兼42
		小計（5科目）	—	7	3			—		3	1	2	4	0		兼60
	科目主	主題	1・2①②③④	6			○			9	3	2	5	0		兼107
		小計（1科目）	—	0	6	0		—		9	3	2	5	0		兼107
	学問基礎科目	哲学	1前・後	2			○									兼1
		論理学	1前・後	2			○									兼1
		倫理学	1前・後	2			○									兼2
		芸術	1前・後	2			○									兼3
		心理学	1前・後	2			○									兼9
		社会学	1前・後	2			○									兼4
		教育学	1前・後	2			○									兼1
		歴史学	1前・後	2			○									兼3
		文学	1前・後	2			○									兼1
		言語学	1前・後	2			○									兼2
		法学	1前・後	2			○									兼3
		政治学	1前・後	2			○									兼1
		経済学	1前・後	2			○									兼1
		経営学	1前・後	2			○									兼1
		数学	1前・後	2			○									兼13
		地学(講義)	1前・後	2			○									兼9
		地学(実験)	1後	2					○							兼3
		物理学(講義)	1前・後	2			○									兼10
		物理学(実験)	1前・後	2					○							兼6
		化学(講義)	1前・後	2		2	○									兼5
		化学(実験)	1前	2					○							兼2
		生物学(講義)	1前・後	2		2	○			1	3					兼9
		生物学(実験)	1前	2		2			○							兼3
		地理学	1前・後	2			○									兼1
		統計学	1前・後	2			○									兼1
		情報科学	1後	2												兼2
		医学	1前・後	2		2	○			1						メディア オムニバス
		看護学	1前・後	2			○									兼4
		特別・複合領域	1前・後	2			○			1						オムニバス 兼18
	小計（29科目）	—	0	48	10		—		3	3	0	0	0	0		兼104
全学共通科目	養育教	広範教養教主題科目	1・2・3・4前・後	2			○									兼17
		小計（1科目）	—	0	2	0		—		0	0	0	0	0		兼17
	高度教養教育科目	高度教養主題科目	2後	2			○									兼25
		上級英語	1・2・3・4前	2					○							兼1
		西洋古典語	1・2・3・4前・後	1			○									兼1
		学部提供教養科目	1・2・3・4前・後	2			○									兼16
		小計（4科目）	—	2	5	0		—		0	0	0	0	0		兼38
	外国語科目	英語	1前・後・2前	5			○									兼10
		小計（1科目）	—	5	0	0		—		0	0	0	0	0		兼10
		ドイツ語	1前・後	4					○							兼5
		フランス語	1前・後	4					○							兼4
		中国語	1前・後	4					○							兼4
		韓国語	1前・後	4					○							兼4
		小計（4科目）	—	0	16	0		—		0	0	0	0	0		兼19
		小計（5科目）	—	5	16	0		—		0	0	0	0	0		兼29
	区分計（45科目）			—	14	80	10		—	12	5	4	6	0		兼270
専門基礎科目	医用物理学	1前	2			○		※	1	1					※実験・実習	
	医用化学Ⅰ	1通	2			○		※	1	1		1			※実験・実習	
	医用化学Ⅱ	2前	1			○			1							
	医科生物学	1通	2			○		※	1						※実験・実習	
	細胞生物学	2前	1			○			1							
	数理科学	1前	1			○			1							
	生物統計学	1後	1			○	※		2		2				※演習	
	分子遺伝学	2前	2			○			1	1						
	分子生物学	2通	2			○			1	3						
	医療心理学	1前	1			○									兼2	
	小計（10科目）	—	15				—		5	7		3			兼3	
早期医学	医学概論	1前	1			○			8	2	2				兼4	
	早期体験学習	1後	1			※		○	1	1						
	医療プロフェッショナルリズムの実践	1後	2					※	2	1					兼1	
	行動科学とチーム医療	2前	2			※		○	1						※講義	
	医療倫理学	2後	1			○			1							
	医学と研究	2後	1			○			2							
	医学・医療と社会	2後	1			○			1							
	患者との出会い	2後	1				○		1							
	早期医学実習Ⅰ	1後		1				○	1							
	早期医学実習Ⅱ	2後	1		1			○	2							
	小計（10科目）	—	10		2		—		13	4	2				兼5	
学際医学	医学英語Ⅰ	3前	1					○							兼2	
	医学英語Ⅱ	3後	1					○							兼2	
	国際交流活動	1・2・3・4・5・6			1				4							
	小計（3科目）	—	2		1		—		4						兼4	
基礎医学	解剖学Ⅰ	2通	4			○		※	1	1		2			※実験・実習	
	解剖学Ⅱ	2通	4			○		※			1	1			※実験・実習	
	生理学Ⅰ	2前	2			○		※	1		1	1			※実験・実習	
	生理学Ⅱ	2通	2			○		※	1	1		2			※実験・実習	
	生化学	2通	3			○		※	1	1		1			※実験・実習	
	内分泌学	3前	2			○		※	1			2			※実験・実習	
	病理学Ⅰ	3前	2			○		※	1			1			※実験・実習	
	病理学Ⅱ	3前	2			○		※	1	1		2			※実験・実習	
	免疫学	3前	2			○		※	1						※実験・実習	
	薬理学	3前	2			○			1			3				
	生理・薬理実習	3前	1					○	3	1		6			オムニバス	
	微生物学	3前	2			○		※	2		1	2			兼2	
	医動物学	3前	2					※	10	4	2	1			※実験・実習	
	小計（13科目）	—	3				—		11	6	4	17			兼3	

社会医学	衛生学	4前	2			○		※		2		2					※実験・実習
	公衆衛生学	4前	2			○		※		2		2					※実験・実習
	法医学	4前	2			○		※		1		2					※実験・実習
	小計（3科目）	—	6			—				1	2		4				
統合講義等	臨床総論講義	3後	2			○				1						オムニバス	
	症候論・PBLチュートリアル	3・4通	2			○		※		1	1						※実験・実習
	消化器ユニット	3後	3			○		※		3			2			オムニバス	※実験・実習
	循環器ユニット	3後	3			○		※		3	4	2	9			オムニバス	※実験・実習
	呼吸器ユニット	3後	2			○		※		2	1	2	7			オムニバス	※実験・実習
	腎泌尿器ユニット	4前	2			○		※		2		1	4			兼1 オムニバス	※実験・実習
	小児科ユニット	4前	3			○		※		1	3	3	10			兼2 オムニバス	※実験・実習
	脳神経筋骨格ユニット	3後	3			○		※		3	2	3	12			オムニバス	※実験・実習
	精神神経ユニット	3後	3			○		※		2	1					兼1 オムニバス	※実験・実習
	生殖系ユニット	4前	2			○		※		2	3	1	6			オムニバス	※実験・実習
	内分泌代謝ユニット	3後	2			○		※		3	1	1	7			オムニバス	※実験・実習
	血液系ユニット	4前	2			○		※		1			3			オムニバス	※実験・実習
	膠原病ユニット	4前	2			○					1					オムニバス	
	皮膚感覚系ユニット	4前	4			○		※		7	1	1	7			オムニバス	※実験・実習
	麻酔ユニット・救急災害ユニット	3後	1			○		※		1	2		1			オムニバス	※実験・実習
	感染症ユニット	4前	1			○				3	2	1	6			オムニバス	
	放射線ユニット	3後	1			○				2	1	1	8			兼2 オムニバス	
	医科学研究	3後	2					○		1							
	小計（18科目）	—	40			—				29	20	16	72			兼6	
臨床医学	医学実習Ⅰ	4後・5前	14					○		26	16	1	40				
	血液・免疫・呼吸器内科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	循環器・腎臓・脳卒中内科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	消化器・神経内科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	小児科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		3				※実験・実習
	精神神経医学	4後・5通・6通	1			○		※		1			2				※実験・実習
	皮膚科学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	放射線医学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		3				※実験・実習
	放射線腫瘍学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	消化器外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1			2				※実験・実習
	呼吸器・乳腺内分泌外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1		1	2				※実験・実習
	心臓血管外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		1				※実験・実習
	脳神経外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	整形外科	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	形成外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	泌尿器科学	4後・5通・6通	1			○		※		1			3				※実験・実習
	眼科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	耳鼻咽喉科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	周産期学婦人科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		3				※実験・実習
	小児外科学	4後・5通・6通	1			○		※				1	2				※実験・実習
	麻酔学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	救急災害医学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	歯科口腔外科学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		2				※実験・実習
	内分泌代謝・臨床検査医学	4後・5通・6通	1			○		※		1	1		1				※実験・実習
	総合診療医学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	地域医療学	4後・5通・6通	1			○		※		1							※実験・実習
	児童精神医学	5後	1			○				1			1			兼1	
	漢方医学	5前	1			○				1							
	臨床病理検討会	5・6前	2			○				3	2		5			兼1	オムニバス
	医療管理学・診断学	4後・5通	2			○		※		2	1					兼4	※実験・実習
	医学実習Ⅱ	5後・6前	10					○		26	16	1	40				
	医療総合講義	6前	2			○				1							オムニバス
	小計（32科目）	—	57			—				28	19	1	46			兼6	
区分計（89科目）			—	160		3				45	30	8	65			兼44	
合計（134科目）			—	174	80	13	—			45	30	8	65				
学位又は称号		学士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等							
全学共通科目 ライフデザイン1単位 健康・スポーツ2単位 大学入門ゼミ2単位 情報リテラシー2単位 主題科目6単位以上 学問基礎科目（文系科目）2単位以上 広範教養教育科目・高度教養教育科目2単位以上 ※学問への扉・主題科目（文系科目・理系科目）・学問基礎科目および 広範教養教育科目・高度教養教育科目15単位以上 既修外国語5単位以上 初修外国語4単位以上 合計 31単位以上										1 学年の学期区分		2期					
												1 学期の授業期間					
										1 時限の授業時間		90分					
学部開設科目 専門基礎科目15単位 早期医学10単位以上 学際医学2単位以上 基礎医学30単位 社会医学6単位 総合講義等40単位 臨床医学57単位 総計 191単位以上																	
総計 191単位以上																	

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学部若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - （1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - （2）「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - （3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

大学名	国公立
香川大学	国立

1. 現在（令和7年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
106	5	0	676



（収容定員計算用）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア) 入学定員	109	109	109	109	109	106	651
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	114	114	114	114	114	106	676

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和8年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	5		595



（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	95	595
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3. 令和8年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
106	5	0	606



（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	106	95	95	95	95	95	581
(イ) 2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	111	100	100	100	100	95	606
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数 11



（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	11
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	
計	11

増員希望人数	11
--------	----

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

1-2. 教育内容

(参考：記入例)
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和8年度からは、■ ■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

(参考：記入例)
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■ ■などの取組を行ってきた。令和7年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	医学概論	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
1年次	医療プロフェッショナル リズムの実践	全員	必修	必修	実習	2	H24
2年次	患者との出会い	全員	必修	必修	実習	1	R3
3年次	臨床総論講義	全員	必修	必修	講義	2	H21以前
4年次	衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4年次	公衆衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
4～5年次	医学実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	14	H21以前
5～6年次	医学実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	10	H30
6年次	医療総合講義	全員	必修	必修	講義	2	H24

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

—学則変更の趣旨—9—

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療スピリット	香川県と連携し、修学学生に対して香川県内の地域医療の現場と地域住民と繋がる機会を提供している。	H21以前
学年別ランチョンセミナー	修学年（2～5年次生）を対象に、地域医療教育支援センター教員・県内の地域医療従事者・義務年限中医師等を講師としてランチョン形式のセミナーを各学年1回/年実施している。	R3
自治医科大学と香川大学医学部卒業の義務年限医師の交流会	義務中での不安を払拭しスムーズに義務年限の修了へ導くことで、地域医療医者の醸成につながる脱退者の減少や義務を履修後も香川県に定着し診療を行えるよう、香川県内の義務年限中の医師同土（自治医科大学卒業生と香川大学医学部卒業生）の交流会を実施している。	R4
Sanuki GM Conference	香川県における総合診療医の育成及び増員を図ることを目的とし、県内の総合診療専門研修基幹診療科を対象に持ち回りにて、学術集会的開催を行うものである。	R5
地域医療ワークショップ	修学年（1～4年次生）を対象に、学年毎に年2～3回地域医療マインド醸成のため地域医療やその周辺に関するテーマを行うワークショップを実施している。	R5
香川県修学学生のための病院見学ツアー	医師の地域偏在および地域枠学生に対する教育の一環として、義務枠限配置の病院を理解するための病院見学ツアーを実施。	
地域枠学生・医師の為のハズンセミナー	医師の診療科偏在および地域枠学生・医師の決断支援の一助として、香川県の推奨する診療科による地域枠生によるセミナー研修を実施	R7

[illegible]

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
香川県と修学生の見学交流会 （1.5年次生）	修学生（1.5年次生）を対象に香川県からの制度説明を年1回実施	H27
香川県と修学生の見学交流会 （1年次生）	修学生（1年次生）を対象に香川県からの制度説明を年1回実施	R1
個別面談	在学中の学生・義務年国中医師に対する香川県と連携した相談・指導のための個別面談を年1回人、成績不振者に係る面談を10月頃に実施して いる。※それ以外の相談に随時対応	R2

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
診療科キヤリアシート （診療科）	地域域科学生に対して、進路（専門研修）を決定する上で参考となるように各診療科に基本領域、サブ領域の研修可能な認定先病院がわかる資料の作成を依頼し、地域域科学生に配布および説明会を実施する予定に している。	R6
指定医療機関シート	地域域科学生・義務期間医師に対して、義務年数期間の配置先病院を 選択する際の参考となるように各病院の概要・経験可能な症数・福利厚生 に関する資料の作成を依頼し、地域域科学生・義務期間医師に配布および 説明会を実施する予定に 定している。	R6

④地域医療守り隊の体制、制度の改善や業務年度に束縛しない医師の経験値、総合診療医、地域医療従事者を擁する病院医師の話し合い(機会を設けること、総合診療医に興味を持ってもらえる、今後を見据えて、この方面に進む医師たちの受け皿について)以下は和やかなりに進めていく。

(1)総合診療専門医養成のプログラムを院内で〜(今年〜令和6年か開始)

(2)自治医大卒業の医師たちの交流も深め、義務年履修年を定めた医師として大学総合診療科と親近点に構築をさせる。

⑤令和5年度から、地域医療の担い手となる意識の向上と同じ義務年を持つ学生同士の仲間意識の醸成のため、本市・地域医療、自治医大地区大学合格者対象に③川原町の市庁舎に施設を新築して、総合診療科、地域医療科、総合診療科を設け、総合診療科の研修医を育成し、設置された地域医療科を総合診療科と地域医療科の連携を促進する総合窓口として、積極的な医師不足地域への派遣について各医師との交渉を行うこと予定である。

⑥2024年度に実施する2025年度入学者選抜の改革 (2023.3.2 2年前告知済)

(1)2024年度に実施する2025年度入学者選抜から、医学部医学科科推薦型(直接24の地域(市)推薦)と医学部医学科科一般進抜(前期日程)の地域枠(一般枠)の出願に、本市で実施された地域医療士一受検を準備する。

※入願者として出願した医師について十分に理解した上で出題できる環境を整備。(随時印刷)

(2)2024年度に実施する2025年度入学者選抜から、医学部医学科科推薦型

7 医 政 第 113476 号
令和 7 年 8 月 1 3 日

厚生労働省医政局長 様

香川県健康福祉部長 長尾 英司

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 7 年 8 月 5 日付け 7 文科高第 666 号、医政発 0805 第 5 号に基づき、下記のとおり、令和 8 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

11 名

・香川大学医学部における地域枠：11 名

担 当：香川県健康福祉部医療政策課
医療人材グループ 篠原、日下
電話番号：087-832-3321
E m a i l：imu@pref.kagawa.lg.jp